

とよしの健全性、安全性、成長性

自己資本比率

令和5年9月期における、とよしの自己資本比率は、国内基準の4%、国際基準の8%を大きく上回る**9.79%**となりました。自己資本比率は金融機関の経営体力を示す指標であり、皆様に安心してお取引いただけますように、今後とも「堅実経営、健全経営」を行ってまいります。

不良債権比率

●信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権比率 (総与信に対する不良債権比率)

信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権比率は、**2.49%**と、令和5年3月期に比して**0.09**ポイント低下しました。

預金積金残高

預金積金残高は、地域の皆様よりのご信頼のもと、**1兆8,230億円**と令和5年3月期に比して**634億円**の増加となり、堅調に推移しました。

融資金残高

融資金残高は、住宅ローンなど個人ローンを中心に地域の皆様への積極的な取組みにより、**9,190億円**と令和5年3月期に比して**173億円**の増加となりました。

収益状況 (業務純益、経常利益、当期純利益)

令和5年9月期(上半期決算)は、業務純益**20億円**、経常利益**17億円**、当期純利益**13億円**となりました。また、令和2年3月期より開示を追加している実質業務純益は**19億円**、コア業務純益は**19億円**となりました。

内部留保

とよしの財産である会員勘定(出資金・特別積立金等)は**794億円**となり、より内部留保を充実することができました。

自己資本比率の状況

令和5年9月末の当金庫の自己資本比率は**9.79%**となりました。自己資本比率は、金融機関の経営体力を示す指標であり、出資金・利益準備金・特別積立金等の「自己資本の額」を「分子」として、各資産にリスク・ウェイトを乗じた合計額の「リスク・アセット」を「分母」として算出します。

① 自己資本の額

(単位:百万円)

項 目	令和5年9月期
コア資本に係る基礎項目	80,515
出 資 金	847
利 益 剰 余 金	78,595
外部流出予定額(△)	50
一般貸倒引当金	1,122
コア資本に係る調整項目(△)	257
合 計(自己資本の額)	80,257

② リスク・アセット

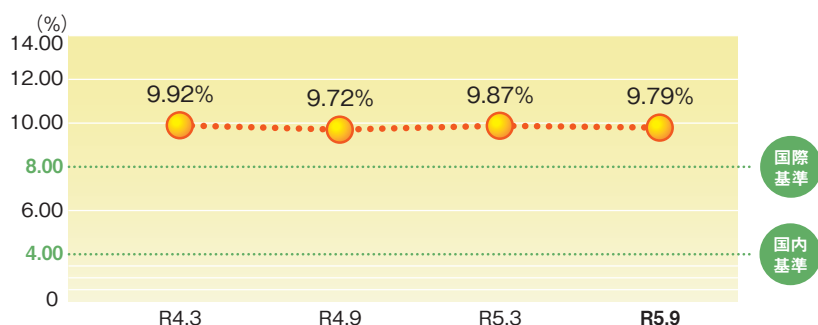
(単位:百万円)

項 目	資産の額	リスク・アセット
オン・バランス取引	1,933,164	791,933
オフ・バランス取引	44,923	1,629
C V A リ ス ク	—	0
オペレーショナル・リスク	—	25,898
合 計	1,978,087	819,462

◆ リスク・アセットの詳細については、パーゼルⅢ 第三の柱に関する定量的な開示事項をご参照ください。

自己資本比率(①自己資本の額÷②リスク・アセット) ➡ $80,257 \div 819,462 = 9.79\%$

●自己資本比率の推移



主に地域の皆様への貸出金増加等の要因からリスク・アセットが増加し、自己資本比率が低下しておりますが、自己資本は順調に増加しています。